

世界の国を知る 🌍 世界の国から学ぶ

わたしたちの地球と未来

 アイルランド 



【表紙の写真】

(左上) セント・パトリックス・デーでの一風景

みんなシンボルカラーの「緑」を身につけています。

(右下) アイリッシュコーヒー

アイリッシュウイスキーをベースとするカクテル。アイルランドの国花「シャムロック」のコーヒーアートがおしゃれ。

Contents

「イギリス」の国名表記について、正式名称「グレートブリテン及び北アイルランド連合王国」あるいは日本の外務省が対訳で用いる「英国」、または時代的に「イングランド」と表記すべき箇所がありますが、本書では便宜上「イギリス」に統一してあります。

- 01 こんな想いを込めました!
- 02 こんな教材です!
- 03 なぜアイルランド?

第1章 アイルランドってどんな国?

= 緑あふれるエメラルドの島 =

- 05 アイルランドってどんな国? Part1
～ガリバーによる紹介～
- 07 アイルランドってどんな国? Part2
～聖パトリックによる紹介～
- 09 もっと知りたい! アイルランドクイズ
- 11 アイルランド産 あれもこれも!
- 13 ちょっとブレイク ～サラブレッドの世界的産地～

第2章 へえ～! アイルランドと日本

- 15 比べてみよう! アイルランド ウソ? ホント? クイズ
- 17 アイルランドってどんな国? Part3
～ガリバーと聖パトリックによる紹介～
- 19 ちょっとブレイク ～アイルランドに残るケルト文化～

第3章 一緒に考えよう! こんな課題

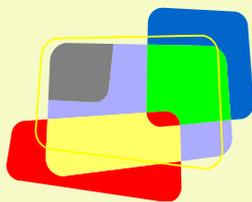
- 21 もし、 が禁止されたら?
- 23 歴史を歩こう! アイルランドすごろく
- 25 フォトギャラリー

第4章 そして未来へ

- 27 未来を語ろう!
～忘れない。日本の強さと世界の優しさ～

参考資料

- 31 目で見るアイルランド
- 33 アイルランド地図
- 35 参考文献・データ等の出典
- 35 ご協力いただいた方たち
- 35 2011年度教材作成チーム



こんな想いを込めました！

愛知万博で体験した国際交流の楽しさを広げていきたい！つなげていきたい！
そんな想いが本書作成のきっかけでした。



国際交流は楽しい！

『世界大交流』をうたった2005年愛知万博。120カ国の文化や生活に触れたり、いろいろな国の人たちと話をしたりすることは、とても楽しい経験でした。「国際交流」は決して難しいことではありません。自分の視野を広げ、他者を尊重する力を育むことにもつながり、そうした力は多文化共生社会を実現するためにも欠かせません。そんな国際交流の楽しさ、大切さを愛知から発信していきたいと考えました。

人の顔が見える教材をつくりたい！

「日本ってこんな国」「日本人ってこんな人」って決めつけられて違和感を感じた経験はないでしょうか？ 国全体の概要を知ることもちろん大切ですが、何となく持っている固定概念をもしかしたら裏切るような、「へえ～、こんな一面もあるんだ」と意外に思えるような、そんな教材をつくりたいと考えました。そうすることによって、「わたしたちが世界のことをいかに知らないか」ということや「普段見聞きしている情報はほんの一面にすぎない」ということに気づいてもらうとともに、そこに住んでいる人々を身近に感じてもらえたらいいなと思います。

世界の国から学ぶ！

どんな国もいいところ、悪いところ、いろいろな面を持っています。何が幸せなのか、「豊か」の基準は何なのか、といった価値観もさまざまです。例えば、途上国だから「かわいそうな国」ではありませんし、紛争があるから「こわい国」でもありません。日本にもたくさん問題があります。様々な国の、特にすばらしいところを知ることによって、対等な関係をつくとともに、自分たちの地域や生活をふりかえることができると考えました。国にも人にも文化にも優劣はないことを踏まえて、お互いに学び合える関係ができればいいなと思います。

未来を創るのはわたしたち！

地球はさまざまな課題を抱えています。環境や人権や平和など、日本も無関係ではありません。地球に住む一人ひとりがそれらの課題に取り組まなければ、よりよい未来を創ることはできないのです。そしてよりよい未来を創るためには、今、地球で起きていることは何なのかを知り、それが自分とつながっていることに気づくことが大切だと考えました。本書に掲載されていることは、地球で起きていることのほんの一部ですが、それらを通して感じたこと、気づいたことが未来につながっていくといいなと思います。



こんな教材です！

次のようなことを考えて作りました。

ファシリテーター・先生用の教材です

内容については、小学校高学年以上を対象としていますが、本書自体は、ファシリテーター(参加型プログラムの進行役)や先生に使っていただくための教材となっています。ことば遣いなど、対象に合わせて直してください。必要に応じてコピーし、配布していただいても結構です。

参加型で使うことができる教材です

情報・知識を聞くだけでなく、考えたり、作業をしたり、話し合ったりすることによって楽しく学べるとともに、その中で何かを感じたり、気づいたりしてもらえようようなプログラムにしました。基本的には4～6人のグループに分かれて行うプログラムになっています。必ずしも正解があるものばかりではありません。参加型のプロセスを大切にいただければと思います。

きっかけづくりの教材です

本書で紹介したのは、アイルランドのほんの一面です。本書だけでアイルランドのすべてがわかるわけではありません。アイルランドに親しみを感じ、関心をもってもらうと同時に、自分たちの地域をふりかえり、地球的課題を考えるきっかけとして活用してください。

使い方は自由です

とはいうものの、使い方は自由です。もちろん、最初から順番にやる必要はありません。対象に応じてプログラムの進め方を変えたり、時間的な条件によって短縮したりするなど調整することもできます。参加者にあわせて、どんどんアレンジして使ってください。巻末に参考資料を掲載していますので、最新のデータが必要なときや、もっと深めたいときは、活用してください。

カラーデータ・写真はダウンロードできます

カラーデータ・写真については、(公財)愛知県国際交流協会のホームページからダウンロードできます。ただし、著作権は出典元または(公財)愛知県国際交流協会に帰属します。学校関係や国際交流団体等が教育の目的で非営利に使う場合に限り、活用していただけます。(http://www2.aia.pref.aichi.jp/koryu/j/kyouzai/kyouzai.html)

本書の構成とマークの見方

基本的に、1項目2～4ページで掲載しており、実際に使っていただくプログラムと、それに関する説明とで構成されています。それぞれのプログラムの「ねらい」も記載していますので、参考にしてください。また、ページの下段に掲載している一口コラムは、プログラムとは関係なく、ちょっとおもしろい情報や用語の意味などです。必要に応じて活用してください。なお、本書で使っているマークの意味は次の通りです。



参加型のプログラムです。
必要に応じてコピーし、配布してください。



プログラムに関する説明です。
ファシリテーター・先生用です。



プログラムのねらいです。



プログラムに使う資料です。
必要に応じてコピーし配布してください。



コピーし、カード等に切り離して
使ってください。



プログラムで模造紙を使います。



プログラムでマジックを使います。



プログラムで付箋を使います。



プログラムでA4用紙を使います。
裏紙等を活用してください。



データ等の出典です。



写真の撮影者です。



なぜアイルランド？

始まりは、2005年愛知万博「一市町村一国フレンドシップ事業」

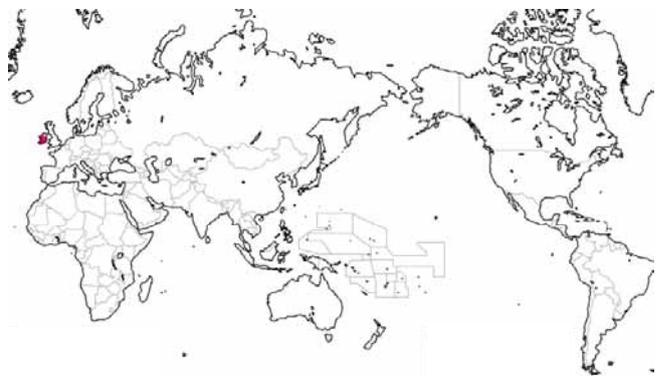
2005年に開催された愛知万博の会期中愛知県内の市町村は、公式参加国120カ国(日本を除く)のホームシティ・ホームタウンとして、地域ぐるみのホスピタリティあふれる受入を行いました。この取り組みを「一市町村一国フレンドシップ事業」と言います。このフレンドシップ事業では次の5つのことをねらいとしました。

- 世界各地から訪れる人々に日本や日本人を理解してもらう
- 迎え入れる地域の人々に、交流を通じて、世界には多様な価値や文化があることを知ってもらう
- 万博会場内だけでなく、地域でもてなすことで、万博を相互交流を深めるための大きな舞台とする
- 地域文化を世界に発信することにより、各地域が自らの文化を再発見し、地域のあり方や発展の方向性について学ぶ機会とする
- 地域に根ざした「人」と「人」との交流を万博終了後も引き継ぎ、世界の人々をつなぐ架け橋としてさらに発展させる

この「一市町村一国フレンドシップ事業」をさらに広げ、つなげていこうと作成したのがこの教材です。そして、アイルランドのホームシティは清須市でした。



愛知万博 / アイルランド館

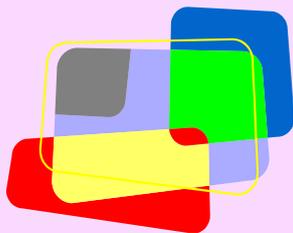


2012年作成 予定国 (38カ国)	アイスランド共和国 アイルランド アルゼンチン共和国 アルメニア共和国 イエメン共和国 ウクライナ エクアドル共和国 オーストリア共和国 カタール国 ギニア共和国 キューバ共和国 ギリシャ共和国 グ アテマラ共和国 クロアチア共和国 コスタリカ共和国 コンゴ民主共和国 サモア独立国 ザンビア共和 国 シンガポール共和国 ジンバブエ共和国 スウェーデン王国 ソロモン諸島 タンザニア連合共和国 チ ェコ共和国 ツバル ドイツ連邦共和国 トンガ王国 ナイジェリア連邦共和国 ニカラグア共和国 パラオ 共和国 バングラデシュ人民共和国 ブータン王国 ブルネイ・ダルサラーム国 ブルンジ共和国 ペルー 共和国 マダガスカル共和国 モーリタニア・イスラム共和国 ルーマニア
2011年作成 (22カ国)	インド 英国 エチオピア連邦民主共和国 エリトリア国 オーストラリア連邦 ガーナ共和国 カザフスタ ン共和国 コートジボワール共和国 ジブチ共和国 スイス連邦 スペイン王国 デンマーク王国 ノル ウェー王国 バヌアツ共和国 フィリピン共和国 ブルキナファソ ベトナム社会主義共和国 ポーランド共 和国 マレーシア ミクロネシア連邦 メキシコ合衆国 ロシア
2010年作成 (30カ国)	アゼルバイジャン共和国 アンゴラ共和国 アメリカ合衆国 イラン・イスラム共和国 インドネシア共和 国 ウガンダ共和国 カナダ グルジア コンゴ共和国 サントメ・プリンシペ民主共和国 スーダン共和 国 スリランカ民主社会主義共和国 タイ王国 タジキスタン共和国 中華人民共和国 チュニジア共和 国 トルコ共和国 ネパール連邦民主共和国 パプアニューギニア独立国 フィンランド共和国 ブルガリ ア共和国 ベネズエラ・ボリバル共和国 ベリーズ ボスニア・ヘルツェゴビナ ホンジュラス共和国 マーシ ャル諸島共和国 マリ共和国 ヨルダン・ハシェミット王国 リトアニア共和国 ルワンダ共和国
2009年作成 (20カ国)	イタリア共和国 ウズベキスタン共和国 エジプト・アラブ共和国 エルサルバドル共和国 カンボジア王 国 キリバス共和国 キルギス共和国 ケニア共和国 サウジアラビア王国 大リビア・アラブ社会主義人 民ジャマ・ヒーヤ国 チャド共和国 ドミニカ共和国 ニューージーランド フィジー諸島共和国 ベナン共和 国 ベルギー王国 ボリビア多民族国 モロッコ王国 モンゴル国 ラオス人民民主共和国
2008年作成 (10カ国)	オランダ王国 カメルーン共和国 ガボン共和国 セネガル共和国 大韓民国 パキスタン・イスラム共和 国 パナマ共和国 フランス共和国 ポルトガル共和国 南アフリカ共和国

 第1章

アイルランドってどんな国？

= 緑あふれるエメラルドの島 =



アイルランドってどんな国？ Part1

～ ガリバーによる紹介～



ところでみなさんは、アイルランドのこと、どのくらい知っていますか？

「私の名はガリバー。
私の冒険を記した『ガリバー旅行記』は諸君も知ってるだろう。
私の生みの親であるジョナサン・スウィフトはアイルランドの作家なんだ。
諸君はアイルランドについて、どのくらい詳しいかな。ちょっとテストしてみよう。」



- 1 「右はヨーロッパの地図だが、アイルランドはどこにある？
A～Dの中から選んできたまえ。

地理を知らなきゃ冒険なんてできないぞ！

「世界にはアイルランドのように「〇〇ランド」と呼ばれる国・地域が
他にもたくさんあるぞ。

他にどんな国・地域があるか調べて発表してみよう。」



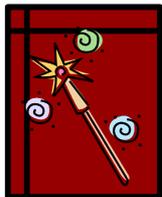
- 2 「アイルランドの位置はわかったようだな。
今度は日本と緯度を比べてみよう。
アイルランドの首都ダブリンと緯度が一番近い都市を選んできたまえ。」

A 稚内市 B 仙台市 C 名古屋市 D 那覇市

「意外に北にあることがわかったかな。

緯度のわりにそれほど寒くないのはメキシコ湾流という暖流のおかげなんだ。」

- 3 「アイルランドは私の生みの親スウィフト以外にも、有名な作家がたくさんいるぞ。
次のうちアイルランド人作家が書いた作品を選んできたまえ。1つとは限らないぞ。」



A ハリー・ポッター



B ダレン・シャン



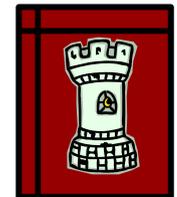
C ドラキュラ



D 怪談



E 幸福な王子



F ハムレット

「アイルランドには他にも日本になじみのある作品があるぞ。

また、アイルランドはノーベル文学賞に4人も選ばれているんだ。ちなみに日本人は過去2人が受賞しているが、誰だかわかるかね？」

- 4 「ちょっと休憩しようかな。諸君にも紅茶をごちそうしよう。
ただし、クイズに正解するのが条件だ。
一人あたりの紅茶消費量が最も多い国はどこだと思う？」

A 紅茶といえば「イギリス」でしょ？

B みんな知ってるダージリン、アッサムの産地「インド」に決まってる！

C 意外に「日本」だったりして。

D あえて「アイルランド」でファイナルアンサー。

「紅茶を飲むことはできたかな？ そろそろ新たな冒険に出かける時間だ。またどこかで会おう！」



「ガリバー旅行記」の正式な題名は、実はものすごく長いんです。それは...？(答えはP.6欄外)



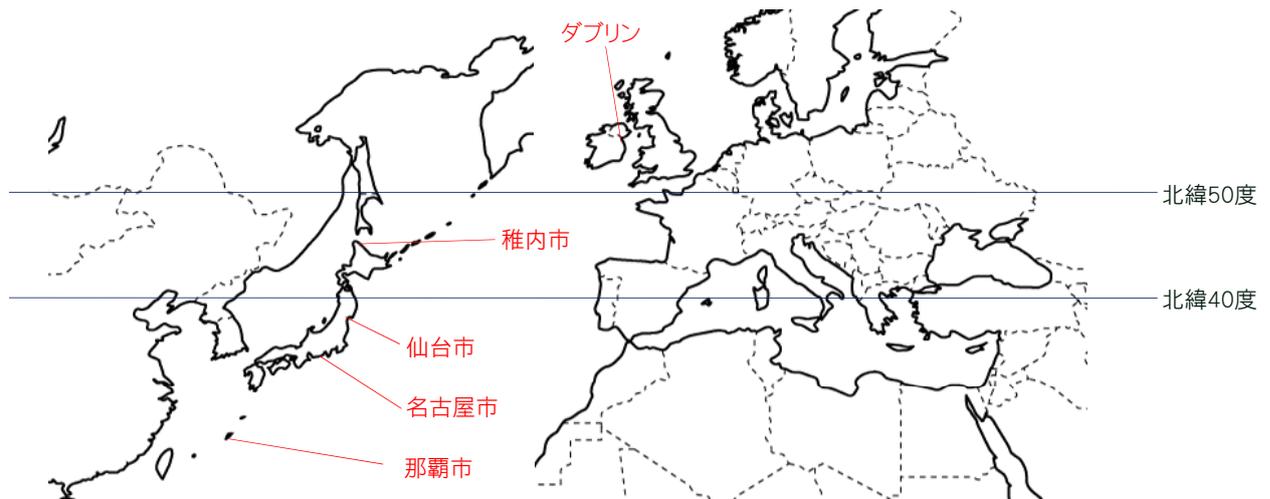
1 アイルランドは、**B** です。

A はアイスランド、**C** はフィンランド、**D** はポーランドです。

「〇〇ランド」と呼ばれる国・地域について、国では他にスワジランドやネーデルランド(オランダの英語読み)、地域ではグリーンランド(世界最大の島)やスコットランド(イギリスを構成する国の一つ)、メリーランド(アメリカの州)、クイーンズランド(オーストラリアの州)などがあります。

2 アイルランドの首都ダブリンと緯度が一番近い都市は、**A** の稚内市です。

ダブリンは北緯53度で、日本最北端の稚内市の北緯45度よりずっと北にあり、サハリンの北端とほぼ同じ緯度です。



3 アイルランド人作家が書いた作品は、**B** ダレン・シャン、**C** ドラキュラ、**D** 怪談、**E** 幸福な王子です。

A ハリー・ポッターはイギリスのJ・K・ローリング、**F** ハムレットは同じくイギリスのウィリアム・シェイクスピアの作品です。

「ダレン・シャン」はダレン・シャンによるファンタジー小説。

「ドラキュラ」はブラム・ストーカーによる作品で、「吸血鬼=ドラキュラ」といわれるほど有名になりました。

「怪談」はラフカディオ・ハーンによる日本各地に古くから伝わる怪談・奇談をまとめた作品。ハーンは小泉八雲という日本名でも知られています。

「幸福な王子」はオスカー・ワイルドによる貧しい人々に宝石を届ける王子像とツバメの物語を描いた童話です。

他にアイルランド人作家としては、ミュージカルや映画で有名な「マイ・フェア・レディ」の原作「ピグマリオン」を書いたバーナード・ショー、ダブリンの1日のできごとを実験的な手法で描いた長編小説「ユリシーズ」のジェームス・ジョイスが挙げられます。

また、アイルランドはバーナード・ショー、ウィリアム・バトラー・イエイツ、サミュエル・ベケット、シェイマス・ヒーニーの4人のノーベル文学賞作家を輩出しています(なお、日本のノーベル文学賞受賞者は、川端康成と大江健三郎の2人)。

4 一人あたりの紅茶消費量が最も多い国は、**D** アイルランドです(2008年)。

一人1日平均6杯以上も飲むのだとか。

なお、紅茶消費量が最も多い国は**A** のイギリス(2008年)、紅茶生産量が最も多い国は**B** のインド(2011年)です。



アイルランドってどんな国？ Part2

～ 聖パトリックによる紹介～



ところでみなさんは、アイルランドのこと、どのくらい知っていますか？



「わしの名前はセント・パトリック。
アイルランドにキリスト教を伝えた聖人として、アイルランドではチョー有名じゃ。
わしの名前を冠した国民の祝日もあるんじゃぞ。
皆にもアイルランドのことを楽しいクイズで伝えてみようかの。」

- 1 「アイルランドには、昔わしが追い出したせいで、今でもある動物がないんじゃ。
それは次のA～Dのうち何だと思うかの？」

A ヘビ B カエル C ネズミ D カラス

「ほんとにわしが追い出したかって？ 大昔のことで忘れたのう。
ただし、いないのは本当じゃ。たまに発見されるとニュースになることもあったそうじゃ。」

- 2 「アイルランドのシンボルといえばいろいろ思い浮かぶのう。
その中で正式な国章として使われているものがあるのじゃが、それは何だと思うかの？
次のA～Dから選ぶのじゃ。」



A ハープ



B ライオン



C 菊



D 緑色の三つ葉

「国章とは国を象徴する紋章のことじゃ。デザインも凝っていて国旗とはまた違った面白さがあるのう。
けっこう身近にもあるぞ。探してみるのじゃ。」

- 3 「キリスト教のシンボルといえば十字が有名じゃが、アイルランドでは他とはちょっと違う十字を見ることが
できるのじゃ。
一般にケルト十字やアイルランド十字と呼ばれる形は、次のうちどれだと思うかの？」



A



B



C



D

「十字にもいろんな種類があるんじゃ。日本でもいろんな形の鳥居があるって知っておったかの？」

- 4 「何？ おなかが空いたじゃと？ そういえば、わしもハラがへったのう。
おや！ ここにソーダブレッドがあったわい。何？ ソーダブレッドを知らないじゃと？ アイルランドじゃ有名な
料理だというのに。
よし！ どんな料理か答えられたら食べてもよいぞい。」

A ソーダってことはジュースじゃない？
 B ブレッドってパンのことでしょ？
 C アイルランドって島国だから、きっと魚料理だよ。
 D 太いソーセージのことだった気が…。

「食べたら眠くなってきたのう。ちょっとお昼寝じゃ。それではの。」



1 アイルランドにいない動物は、**A** のヘビです。

キリスト教では、ヘビはエデンの園でアダムとイブをそそのかした呪われた存在、サタン化身として見ていたため、アイルランドにキリスト教を広めた聖パトリックにより追放されたという伝説が残されています。

しかし、実際にはアイルランドの気候が、ヘビが生息できるほど温暖ではないことが原因ではないかといわれています。



2 アイルランドの正式な国章は、**A** のハープです。

ハープ(アイリッシュ・ハープ)は中世の頃からアイルランドの正式な象徴として使われ、アイルランドのユーロ硬貨にも描かれています。

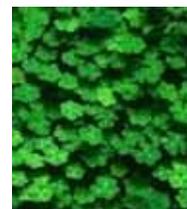
Bのライオンはイギリスなどのヨーロッパやアフリカ諸国で国章に多く使われているデザインです。

Cの菊は日本で国章に準ずる扱いを受けており、皇室の紋章やパスポートに使用されています。

Dの緑色の三つ葉は、シャムロックというクローバーに似た植物で、アイルランドの国花になっています。聖パトリックはこれを使ってキリスト教における三位一体の教えを広めたとされています。



アイルランドのユーロ硬貨



シャムロック

3 アイルランドで見られる他とはちょっと違う十字は、**C** です。

十字の部分を囲む環が特徴です。

Aは八端十字といってロシア正教会、ブルガリア正教会などスラブ系正教会で多く使用される形です。

Bはラテン十字、**D**はギリシャ十字(縦軸と横軸が同じ長さで中央で交差しているのが特徴)といって、キリスト教で最も多く使われる形です。

日本の鳥居も、笠木と呼ばれる最上部の横棒の反りの有無、笠木の下横棒(島木)の有無など、様々な種類があります。



アイルランド政府観光庁

4 ソーダブレッドとは、**B** のパンの一種です。

一般のパンが膨張剤としてイースト菌を使うのに対して、ソーダブレッドは重曹(炭酸水素ナトリウム)を使います。発酵のために生地をねかせる必要がないので、短時間で作ることができます。



ウィキペディア



作ってみよう！ソーダブレッド

〈材料〉

- ・薄力粉 450g
- ・重曹 小さじ1杯強
- ・塩 ひとつまみ
- ・マーガリン 25g
- ・バターミルク (300ml、もしくはプレーンヨーグルト150mlと水150ml) とともに泡立てた卵1個

〈作り方〉

- ①オーブンを200度に熱する。
- ②薄力粉、重曹、塩をふるいにかけてボウルにいれる。
- ③マーガリンを練りこむ。
- ④卵とバターミルクを混ぜたものを加える。
- ⑤打ち粉をした板の上で1～2分軽くこねる。
- ⑥球形にしたあと少し平らな形に整える。
- ⑦十字に深く切れ目をいれ、オーブンで30～40分焼く。

もっと知りたい！ アイルランドクイズ

① アイルランドの生活・文化に関するクイズに挑戦! これってウン? ホント?

① アイルランドは島全体が一つの国である。



② アイルランドで最も多くつくられている農作物は、パンの原材料の小麦である。



③ アイルランドで最も人気のあるスポーツはサッカーである。



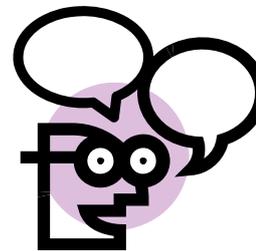
④ アイルランドの首都ダブリンには、全人口の半分が集中している。



⑤ アイリッシュコーヒーは、未成年者は飲んではダメ!



⑥ アイルランドの公用語は2つある。



⑦ アイルランドから移り住んだ人の子孫の中にはアメリカ合衆国大統領になった人もいる。



⑧ アイルランド最大のお祭り「セント・パトリックス・デー」では、アイルランドだけでなく世界中でパレードがおこなわれる。



⑨ アイルランドにはエジプトのピラミッドより古い遺跡がある。



アメリカは「米」、イギリスは「英」など外国名を漢字1文字で表すと、アイルランドの場合は「愛」。「愛の国ガOダーラ」はインドじゃなくヨーロッパに実在したんですね。



P.9のこたえと解説です。



アイルランドを知ることによって親近感をもつとともに、知る楽しさを体感する。

1

×
ウツ

アイルランド島は32の州で構成されますが、イギリスからの独立時の経緯により、北東部6州はイギリスの一部(北アイルランド地方)となっています。



■アイルランド
■イギリス(北アイルランド地方)

2

×
ウツ

アイルランドで最も多くつくられている農作物は、ビールやウイスキーの原料になる大麦です。アイルランド産のビール、ウイスキーは世界でとても人気があります。

3

×
ウツ

アイルランドで最も人気のあるスポーツは、ゲーリング・フットボール(サッカーとラグビーを合わせたようなもの)やハーリング(ホッケーとラクロスを合わせたようなもの)といった伝統的なスポーツです。



ハーリング

4

×
ウツ

ダブリンは約121万人が暮らす大都市で、これはアイルランド全人口の1/4にあたります。しかし、世界有数の大都市である東京(特別区)の人口(約895万人)でさえ、日本の全人口(約1億2,800万人)の7%程度ですので、いかにダブリンに人口が集中しているかがわかります。

5

ホント

アイリッシュコーヒーはコーヒーにウイスキーを注いだカクテルの一種、つまり「お酒」なので未成年者は飲んではいけません。アイルランドの空港スタッフが、乗客に体を温めてもらおうと考案したのが始まりです。

6

ホント

アイルランド憲法では第1公用語をゲール語、第2公用語を英語と定めています。日常的には英語が使われていますが、交通標識などはゲール語が併記されています。(→P.19)

7

ホント

1840年代に起こった大飢饉で多くのアイルランド人がアメリカなどに移住しました。J・F・ケネディ大統領、ロナルド・レーガン大統領は彼らの子孫にあたります。

8

ホント

3月17日のセント・パトリックス・デーは、アイルランド以外にアメリカや日本でも盛大なイベントが催されます。またこの日は、アイルランドのシンボルカラーの緑のものを身に付ける習慣があります。



9

ホント

世界遺産に登録されているニューグレンジは紀元前3200年頃に建てられたものといわれ、エジプト最古のピラミッドより500年以上古いこととなります。



ウィキペディア

アイルランド産 あれもこれも？！

① アイルランド発祥のもの、アイルランドの有名なものをクイズでど〜んと紹介!



① アイルランドが発祥のイベントは次のうちどれでしょう?



A ハロウィン



B クリスマス



C イースター

② アイルランドが発祥のお酒は次のうちどれでしょう?



A ビール



B ウイスキー



C ワイン

③ アイルランドが発祥のオリンピック競技は次のうちどれでしょう?



A やり投げ



B 砲丸投げ



C ハンマー投げ

④ アイルランドの会社の名前がついた有名な本は次のうちどれでしょう?



A ミシュランガイド



B ギネス世界記録



C るるぶ

アイルランド発！世界の著名人

下記の著名人は、いずれもアイルランドにルーツをもつ人々（アイルランド系〇〇人）です。それぞれの名前と説明文を正しく線で結んでみましょう。また、どのような人物だったか調べてみましょう。

名前

- A アン・サラバン
- B グレイス・ケリー
- C ジョン・F・ケネディ
- D チェ・ゲバラ
- E ヒュー・ロフティング

説明文

- ア キューバ革命指導者
- イ 第35代アメリカ合衆国大統領
- ウ 「ドリトル先生」シリーズの作家
- エ ヘレン・ケラーの家庭教師
- オ モナコ公妃・ハリウッド女優





1 アイルランド発祥のイベントは、**A** のハロウィンです。

ハロウィンはキリスト教のお祭りと思われていますが、もともとはアイルランドにキリスト教が伝わるずっと昔に祝われていたお祭りが起源です。

ハロウィンが行われる10月31日は古代アイルランド人にとって1年の終わりの日であり、新しい年へ物事が移り変わるこの日の晩は「この世」と「あの世」がつながり、死者の霊や魔物、妖精が現れると信じられていました。

この悪霊や魔物に取り付かれないよう、人々は恐ろしい変装をしたり、食べ物をお供えしたりしていました。

これが仮装した子どもが「トリックオアトリート! (お菓子をくれないといたずらするぞ!）」といって家を訪ね歩く現代のハロウィンの習慣につながっています。



2 アイルランド発祥のお酒は、**B** のウイスキーです。

古い文献によると6世紀の修道士によって蒸留技術が開発されたという記録があります。

ウイスキーの語源は「ウイシュク・ペーハー」から来ており、アイルランド語で「命の水」という意味です。

アイルランドのウイスキー(アイリッシュ・ウイスキー)は、生産工程で蒸留を3回繰り返すことで生まれる、なめらかな味わいが特徴です。

3 アイルランド発祥のオリンピック競技は、**C** のハンマー投げです。

現在はワイヤーが取り付けられた砲丸を投げていますが、もともとは本当のハンマー(金づち)に鎖をつけて投げていたといわれています。

4 アイルランドの会社の名前がついた有名な本は、**B** のギネス世界記録です。

世界記録を集めた本「ギネス世界記録」(以前は「ギネスブック」の名称で親しまれていた)の発案者は、当時ギネス醸造所の代表取締役だったサー・ヒュー・ビーバーです。

黒ビールの代表格として有名なギネスは、その色と独特の苦み、クリーミーな泡立ちが特徴で、世界中で親しまれています。

アイルランドの会社らしく、ロゴにはアイルランドの国章にも使われているハーブが描かれています。



飲酒は20歳になってから。

アイルランド発！世界の著名人

1840年代に起きた大飢饉により、多くのアイルランド人が新天地を求めてアメリカなどに移住しました。現在、こうしたアイルランドにルーツをもつ人々(アイルランド系〇〇人)は、世界中に8,000万人以上いるといわれ、多くの著名人を輩出しています。

- | | |
|---------------------|------------------------------|
| A アン・サラバン | ア キューバ革命指導者 |
| B グレイス・ケリー | イ 第35代アメリカ合衆国大統領 |
| C ジョン・F・ケネディ | ウ 「ドリトル先生」シリーズの作家 |
| D チェ・ゲバラ | エ ヘレン・ケラーの家庭教師 |
| E ヒュー・ロフティング | オ モナコ公妃・ハリウッド女優 |



ウイスキーの英語つづりは一般に「whisky」ですが、アイリッシュ・ウイスキーは「whiskey」とつづられます。



ちょっとブレイク

～サラブレッドの世界的産地～



アイルランドの競馬

アイルランドで盛んなスポーツとして競馬があげられます。

実はアイルランドは世界でも有数の馬産地で、特にサラブレッドの生産頭数はヨーロッパNo.1です。

アイルランドでは数々の大レースが行われますが、その中でもアイリッシュダービーとアイリッシュチャンピオンステークスはヨーロッパ最強馬決定戦としての呼び声の高いレースです。



●アイリッシュダービー(愛ダービー)

「ダービー」と名の付くレースは各国で最も権威のあるレースの一つに数えられることが多いですが、首都ダブリンから南南西45kmほどにあるカラ競馬場の約2,400mの距離で行われる愛ダービーは、アイルランドの3歳最強馬を決めるレースです。

さらに、アイルランド同様に競馬が盛んなイギリス、フランスのダービー優勝馬や上位馬が参戦することも多く、ヨーロッパ3歳最強馬決定戦の意味合いももっています。

●アイリッシュチャンピオンステークス(愛チャンピオンS)

ダブリン近郊のレパーズタウン競馬場の約2,000mの距離で行われる愛チャンピオンSは、世界最高峰レースの一つであるフランスの凱旋門賞(距離2,400m)を目指す競走馬など多くの有力馬が参戦する非常にレベルの高いレースです。

近年では競馬のスピード化が進み、従来最強馬を決めるレースで多く用いられてきた2,400mという距離より短い2,000mのレースを重要視する世界的傾向の中で、このレースもヨーロッパの中距離最強馬決定戦の位置付けとして重要性を増してきています。

日本競馬とのつながり

●ウインドインハーヘア

日本中央競馬(JRA)史上2頭しかいない無敗のままクラシック三冠レースを制した馬であり、JRA史上最多タイのGI 7勝をあげ、JRA史上最強馬の呼び声も高いディープインパクトのお母さんであるウインドインハーヘアは、アイルランド生産馬です。

ウインドインハーヘアは、イギリスオークス(3歳牝馬による最強馬決定戦)で、後に愛ダービー優勝馬バランシーンの2着になるなど、競走成績も優秀な名馬でした。

●ウオッカ

ディープインパクト同様、JRA史上最多タイのGI 7勝をあげた馬の中で唯一の牝馬であるウオッカは、引退後アイルランドで繁殖生活を送っています。

2011年5月に、シーザスターズ(2009年に英ダービー、愛チャンピオンS、凱旋門賞を制し世界1位にランキングされたアイルランドの名馬)の初子を出産しました。

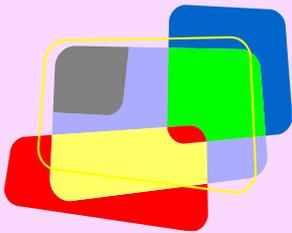


●アイルランド大使特別賞

JRA競馬学校の首席卒業生には、かつて特別教官として招かれたマイケル・ケネディ氏がアイルランド出身であった縁から、アイルランド大使特別賞が贈られています。

 第2章

へえ～！アイルランドと日本



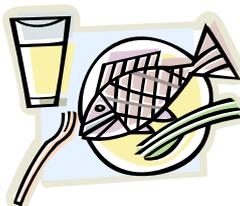
比べてみよう！アイルランド ウソ？ホント？クイズ

① アイルランドと日本を比べて、似ているところ、違うところをクイズで答えてみよう！

① アイルランドで一番高い山は日本の富士山より高い。



② アイルランドは島国のため、一般的に肉より魚が好まれる。



③ アイルランドでは、朝食はあっさりすませるかわりに、昼食が非常に豪華である。



④ アイルランドの祝日は日本よりずっと多い。



⑤ アイルランドでは車は日本と反対の右通行である。



⑥ アイルランドでは義務教育は4歳からだ。



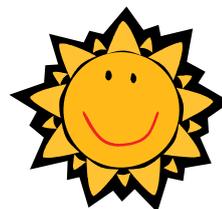
⑦ アイルランドでは、日本でいう高校1年生の時期は、社会に出て修業を積む期間とされている。



⑧ アイルランドのクリスマス当日は、みんなお祝いに参加するため公共交通機関もストップする。



⑨ アイルランドは晴れの日が多く、雨はほとんどふらない。



アイルランドで日本の消費税に相当する付加価値税の一般税率はなんと23% (2012年)!
一方、食料品や子供用衣類、書籍などは無税と、生活必需品の税率は軽減されています。



P.15のこたえと解説です。



二つの国を比較しながら両国への関心を高める。

1 **×ウツ**

アイランドはなだらかな丘陵地と低地からなり、一番高い山でも1,041mで富士山(3,776m)の1/3以下です。

2 **×ウツ**

酪農が盛んなアイランドではアイリッシュシチューに代表される肉料理がどの家庭でも食べられています。
一方、魚はカトリックの教えで肉を食べるのを禁止されている金曜日に肉の代わりに食べられていたくらいで、伝統的にあまり食べられてこられませんでした。



アイリッシュシチュー



3 **×ウツ**

アイランドの朝食はとても豪華。伝統のアイリッシュ・ブレックファストでは、卵、ソーセージ、ベーコン、マッシュルーム、プディング、シリアル、ソーダブレッドなどたっぷりのメニューが出てきます。

4 **×ウツ**

アイランドの祝日は10日と日本の15日と比べても少なめに感じます。しかし、他の欧米諸国もそうであるように、主に夏に数週間の長期休暇をとる文化があるため、祝日が少なく感じることもないかも知れませんか?!

5 **×ウツ**

アイランドでは、車は日本と同じ左通行・右ハンドルです。

世界的にみると日本と反対の右通行(左ハンドル)の国の方が多く、日本と同じ左通行の国は他にイギリス、オーストラリア、インド、インドネシア、南アフリカ共和国などがあります。

これらアイランドを含めた国の共通点は、イギリス連邦の構成国である(あった)ため、イギリスにならって左通行になったといわれています。



■左通行の国(日本と同じ)
■右通行の国(日本と反対)

6 **×ウツ**

アイランドの義務教育は日本と同じく6歳からです。
しかし、多くの子どもたちは4~5歳から学校に通い始めます。

7 **ホント**

アイランドでは、中等教育シニア課程の初年度(日本の高校1年の時期)に1年間のトランジション・イヤー・プログラムを選択することができ、試験のための勉強を離れて様々な経験を積み、将来設計や自立した人格形成のために役立っています。

8 **ホント**

アイランドのクリスマスは家族たちと団らんする日。教会のミサに行き、家ではクリスマスのごちそうを味わいます。

公共交通機関はクリスマスイブの夜から運休止し、街は閑散となります。



伝統的なクリスマス・プディング

9 **×ウツ**

アイランドは年間200日ほど雨が降るため1年中緑が広がっており「エメラルドの島」と呼ばれるゆえんとなっています。

ただ、雨が降っても短時間で止むことが多く、年間降水量は日本と比べて少なめです。(→P.31)



雨の多いアイランドでは、ちょっとしたあいさつで天気の話をする事が多いとか。またアイランド人は傘をあまり使いません。すぐ止むからという理由の他に、風が強くて役に立たないという噂も・・・?

アイルランドってどんな国？ Part3

～ ガリバーと聖パトリックによる紹介～



アイルランドと日本を比べて似ているところ、違うところを見つけてみよう!



「私はガリバー。おや? また会ったな諸君!
今ちょうどセント・パトリックさんと一緒にお茶を飲んでいたところだ。」

「何? もっとアイルランドについて知りたいじゃと?
よい心がけじゃ。では今度はガリバー君と二人で紹介していこうかの。」

「ただ聞くだけじゃつまらないだろう。そうだ! 諸君は我々の話を聞いて、
日本と比べて似ているところ、違うところをだしあってみるんだ。」

「ではアイルランド講義2時間目の始まりじゃ!」



地理・気候



「アイルランドはヨーロッパ大陸の西、大西洋に浮かぶ島国なんだ。
夏は涼しく冬もそれほど冷え込むことはないな。」

「極端に暑い寒いがなく過ごしやすいんじゃ。北と南でもそれほど差はないのう。」

「あと、一年中雨が多いんだ。でもすぐに止むから量としては多くないかな。」

「地形は全体的に平坦じゃ。なだらかな丘が広がっている感じじゃな。」



歴史・産業



「アイルランドは大国イギリスと近いから、昔はいろんな苦勞があつてね。」

「アイルランド島からして一部がイギリスの領土になっておるしのう。」

「長い間イギリスに支配されてアイルランド独自の言葉や文化も
禁止されていたけど、1949年にめでたく独立をしたんだ。」

「わしのいた時代はケルト人による独特の文化が盛んだったんじゃがのう。
苦しい時代があったんじゃ。」

「でも最近はずごく経済が成長して、製造業が盛んな豊かな国になっているんだ。」

「農業はもともと盛んじゃったが、今は製造業が主産業になつてるかのう。」

「あと、島国だから水産業も盛んだな。」

「なのにアイルランド人はあまり魚を食べてこなかったんじゃ。
わしは食べてるぞい。健康によいからの。」



妖精文化



「ところでおぬし、妖精を見たことはあるか?」

「いや～実際見たことはありませんが、アイルランド人は信じてる人多いですね。」

「アイルランドでは自然のあらゆる場所に妖精や霊が住んでいると
古くから信じられてきたんじゃ。」

「『妖精に注意!』って看板までありますね。」



日本とのつながり



「知ってますか? 東京の銀座の街並みを設計したのはアイルランド人なんですよ。」

「へ～そりゃ知らなかったわい。」

「初代『君が代』を作曲したのもアイルランド人です。」

「それも初耳じゃ! しかしおぬし、やけに日本に詳しいのう?」

「実は私、日本に行ったことありましてね。また行きたくなくなりましたよ。」



「ガリバー旅行記」では、小人の国(第1篇)、巨人の国(第2篇)の冒険の後、空飛ぶ島(ラピュータ)を訪れて
おり(第3篇)、その帰国の途中で日本にも立ち寄っています。



地理・気候

アイルランドの気候は、夏は涼しく、冬は島の西側を流れる暖流と南西風の影響でそれほど冷え込まず、1年を通じて寒暖の差はあまり大きくありません。また、北部と南部でも大きな気温の差はありません。1年を通じて平均的に雨が降りますが、年間降水量はそれほど多くありません。(→P.31)
地形はあまり険しくなく、なだらかな丘陵地が広がっています。

●アイルランドと日本と似ているところは・・・?

- ・島国というところ。日本はアジア(ユーラシア)大陸の東、太平洋にあります。

●アイルランドと日本と違っていているところは・・・?

- ・日本の夏は一般に蒸し暑く、冬も寒さが厳しい地域があるところ
- ・日本は南北に細長い地形のため、例えば北海道と沖縄では気候に大きな違いがあるところ
- ・日本は全体的に山がち(国土の70%が山岳地帯)で、平地が少ないところ

などなど

歴史・産業

アイルランドは1949年にイギリスからの独立を果たしています。独立後しばらくはヨーロッパ諸国の中では貧しい国でしたが、1990年代に入り急速に経済が成長しました。中でも製造業は積極的な外貨導入政策により、近年成長が著しく、世界的な多くの企業がアイルランドに拠点を置いています。

農業はもともと盛んでしたが製造業の発展により相対的に重要度が低下しています。

周りを海に囲まれているため水産業も盛んです。しかし、アイルランドでは魚をあまり積極的に食べる習慣がありませんでしたが、最近では健康志向の高まりから魚を食べる人も増えているようです。

●アイルランドと日本と似ているところは・・・?

- ・大国と隣接しているところ。日本も中国やロシアと国境を接しており、かつては戦争も起こりました。
- ・製造業が盛んな豊かな国であるところ

●アイルランドと日本と違っていているところは・・・?

- ・日本は外国と陸地でつながっていないところ
- ・日本人は魚を食べる量が多いところ

などなど

妖精文化

アイルランドは妖精の国。ケルト文化が色濃く残るアイルランドでは、今なお自然の中に妖精の存在を信じている人が多くいます。

有名な妖精として、靴職人の「レプラコーン」、死を予言してすすり泣く「バンシー」などがいます。

(→P.19)

●アイルランドと日本と似ているところは・・・?

- ・妖精や霊の存在が身近にあるところ
- 日本も「八百万の神」というほどあらゆるところに神が宿ると信じられていたり、お盆に先祖の霊が帰ってくるころはアイルランドが発祥といわれるハロウィンのイベントに似ていると思いませんか?



「妖精に注意」の標識

日本とのつながり

アイルランド人トーマス・ジェームズ・ウォーターズは、1872年に銀座が大火にみまわれた際、日本政府の依頼を受け、現在もみられる碁盤目状の街路とアイルランドの首都ダブリンにみられるジョージアン様式のレンガ建築の設計を行っています。

また、アイルランド人ジョン・ウィリアム・フェントンは、1870年に薩摩藩軍楽隊が明治天皇の御前での演奏の際、「君が代」の歌詞につける曲を作曲しました。この曲は現在の「君が代」ができるまで国歌として受け入れられていました。



アイルランド人が話すときよく使う「Lovely」、「Good」や「Cool」と同じく「いいね!」という意味で軽いあいづちを打つときに使われます。なんだかかわいらしい感じがしますね。



ちょっとブレイク

～アイルランドに残るケルト文化～



ケルト人は紀元前のヨーロッパで大きな勢力を誇ったインド・ヨーロッパ語族ケルト語派の民族です。アイルランドに侵入したケルト人は紀元前6世紀までにアイルランド島の先住民族を制圧し、文化と言語を統一しました。

ヨーロッパ大陸のケルト文化はローマ帝国の拡大により失われていきましたが、ローマ帝国の影響を受けなかったアイルランドではケルト文化が生活に浸透し現在もみることができます。

ケルトの宗教観

ケルト人は山や大地、川などのあらゆるものに神が宿ると信じ、「ドルイド」と呼ばれる祭司による自然崇拜が行われていました。

5世紀になると聖パトリックによりアイルランドにキリスト教が伝えられましたが、その際、キリスト教の教えにケルト古来の宗教をうまく取り込むことで布教に成功しています。

例えば、アイルランドで見られるケルト十字は、十字架にケルトの太陽信仰・輪廻思想を表す円形を組み合わせた形をしており、キリスト教とケルト古来の宗教の融合がみられます。

キリスト教布教の過程でこれまで信仰されていた神話は妖精物語に形を変えていきます。現在でもアイルランド人の間で妖精の存在が身近に感じられるのは、ケルトの古い信仰の名残といえそうです。

●レプラコーン

妖精の靴職人。隠された黄金のありかを知っており、レプラコーンを捕まえることができれば大金持ちになるといわれていますが、黄金のありかにたどりつくまでに一瞬でも目を離すと逃げてしまうそうです。

アイルランドでは最も有名な妖精であり、「レプラコーンに注意 (Leprechaun crossing)」という交通標識があるほど親しまれています。(→P.18)



●バンシー

女性の姿をしており、由緒ある家で誰かが亡くなる時、その死を予言して悲しみすすり泣く妖精です。偉大な人物が亡くなる時は、多くのバンシーの泣き声が響きわたるといわれています。

ケルト芸術の最高峰～ケルズの書～

「ケルズの書」とは、豪華な装飾がほどこされた聖書の写本で、マタイ、マルコ、ルカ、ヨハネの4福音書が収められたケルト芸術の最高峰、世界でもっとも美しい本といわれるアイルランドの至宝です。

ケルズの書が制作された8世紀頃のアイルランドは修道院における学術活動が盛んで、福音書の研究や装飾写本の制作が盛んに行われていました。

400年以上の歴史をもつアイルランド最古の大学トリニティ・カレッジ図書館に保管・展示されています。



 ウィキペディア

現代のケルト～ゲール語～

アイルランドの公用語は2つあり、第1公用語のゲール語はケルト語派に属する言語です。

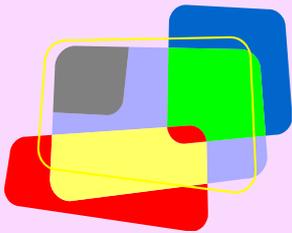
日常的には第2公用語の英語が話されていますが、学校でゲール語の授業があるほか交通標識などはゲール語と第2公用語の英語の2語が併記されています。

アイルランド西部にみられる「ゲールタクト」と呼ばれる一部の地域ではゲール語が日常的に使われています。



第3章

一緒に考えよう！こんな課題



もし、 が禁止されたら？

❓ 文化が否定され、あたり前と思っている権利が与えられなかったら、生活はどうなってしまうだろう？

ここはオワリ国。

いくつかの国に分かれるホンシュウ大陸の中央部に位置する国で、国民はダガネ語を話し、多くの国民はドラゴン教を信仰しています。

信仰熱心な国民は日々キッサテン教会に出かけ、チュウスポ教典を読むのを日課にしています。

オワリ国の東にはカントウ連合王国というホンシュウ大陸最大の国があり、国民はエドッコ語を話し、多くの国民はジャイアン教を信仰しています。

オワリ国とカントウ連合王国は言葉も信仰する宗教も異なることから、長年小競り合いを続けていました。

そんな中、カントウ連合王国は強大な経済力を背景に戦力を拡大してオワリ国に攻め入り、抵抗むなし
くとうとうオワリ国は占領されてしまいました！

占領したカントウ連合王国政府は、オワリ国民を支配するため以下の「おふれ」を出してきました！

【おふれ書】

- その1 キッサテン教会は閉鎖する。
- その2 チュウスポ教典は発行禁止とする。
- その3 ドラゴン教徒が教師、弁護士、軍人、警察、政治家、役人になることを禁止する。
- その4 ドラゴン教徒が商売をする際、従業員を雇うことを禁止する。
- その5 ドラゴン教徒は収入の1割をジャイアン教会に納めなければならない。
- その6 ジャイアン教徒はドラゴン教徒と結婚してはいけない。
もし結婚したら全財産を没収する。

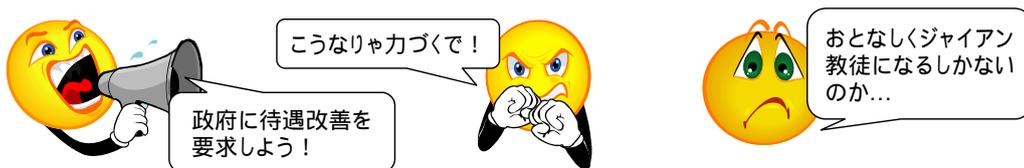
カントウ連合王国政府

みなさんは占領されたオワリ国の国民です。

- 1 この「おふれ」を見てどのように感じましたか？また、みなさんの生活はどのように変わるでしょうか？想像して話し合ってみましょう。



- 2 また、生活をよくするためにはどのような方法をとったらよいでしょうか？みなさんで話し合ってみましょう。



- 3 逆に、みなさんがカントウ連合王国の国民だったら、厳しい「おふれ」に苦しむオワリ国民をみてどう思いますか？想像して話し合ってみましょう。

- 4 こういった例は、身近にはないでしょうか？みなさんで話し合ってみましょう。



イギリス支配の歴史

アイルランドは12世紀から20世紀までの長い間、イギリスの支配を受け続けます。

この間、イギリスはアイルランドを支配するため「アイルランドのイギリス化」を推進し、その手段としてアイルランド語やアイルランド風の姓名の使用禁止などアイルランドの伝統・文化を否定し、アイルランド人の様々な権利を奪っていきました。

特に、16世紀の宗教改革の中でカトリックと決別しプロテスタントの一派「イギリス国教会」を設立したイギリスは、敬虔なカトリック教徒であったアイルランド人に対してもカトリックとの決別を強要しました。

これに反発するアイルランド人は各地で反乱を起こすものの、武力に勝るイギリスに全て制圧されます。かえって、多くの戦死者を出し、多くの土地を没収されるなどした結果、イギリス人地主とアイルランド人小作農という関係が定着し、イギリスによるアイルランド支配は完成をみます。

アイルランド人に対する差別・迫害はさらに続き、17世紀後半に制定された「異教徒刑罰法」では、カトリック教徒に対し職業、結婚、商売や不動産所有の制限、重税などが課せられるなど、政治的・経済的な様々な権利の剥奪が行われ、カトリック教徒の権利が回復するのは19世紀まで待たなければなりませんでした。

アイリッシュダンスにみられる支配下時代のなごり

アイリッシュダンスはアイルランドで伝統的に踊られていた舞踊で、本来様々なスタイルをもち老若男女だれもが楽しめる踊りです。

アイリッシュダンスを世界的に有名にしたのは、ヨーロッパの国際音楽コンテストにおいて幕間のパフォーマンスとして披露された「リバーダンス」です。

リバーダンスは、上半身は動かさずステップのみで踊るアイリッシュダンスのスタイルの一つをモチーフにつくられたものですが、あまりに有名になったため、このスタイルがアイリッシュダンスの代名詞ともなっています。

上半身を動かさずステップのみで踊るスタイルが生まれた時代は、イギリスにより様々な規制を受けていたころ。その中にはアイルランド伝統の踊りを踊ることを禁止する内容もありましたが、踊りが生活の一部になっていたアイルランド人は、窓の外から見られても踊っていることがわからないように、こうしたスタイルを生み出したという話が伝わっています。

今も残る傷あと～北アイルランド問題～

アイルランド島はアルスター、レンスター、マンスター、コノハトの4地方に分かれており、32県の行政区域が設定されています。そのうち、26県がアイルランド、東北部の6県はイギリスの一部(北アイルランド)となっています。

1つの島が2つの国に分割された発端は、イギリスがアイルランドを支配するために行った数々の政策に由来します。



16世紀、イギリスのカトリック弾圧に対する最後の拠点があルスターでした。1603年にアルスターの反乱を鎮圧したイギリスは、この地で二度と反乱が起きないように、アイルランド住民を追いやりイギリス本国からイギリス国教徒(プロテスタント)の人々を移住させます。そのため、この地域の住民は、アイルランド独立の運動が盛んになっても、イギリスとのつながりを持ち続けることを望みました。

1921年に締結された英愛条約は、アイルランド自由国の成立と北アイルランドが引き続きイギリスに統治される内容でした。これを受け、実質的な独立を受け入れる条約推進派と全島独立を求める条約反対派の間で内戦が起こります。この内戦での犠牲者は独立戦争における犠牲者を上回るものでした。

その後も北アイルランドでは、カトリック・プロテスタント双方の過激派によるテロが多発し、イギリス本国でも多くの犠牲者を出しました。1998年に和平合意がなされ新たな関係をスタートさせた今も、テロの脅威は完全にはなくなってはいません。

歴史を歩こう！アイルランドすごろく

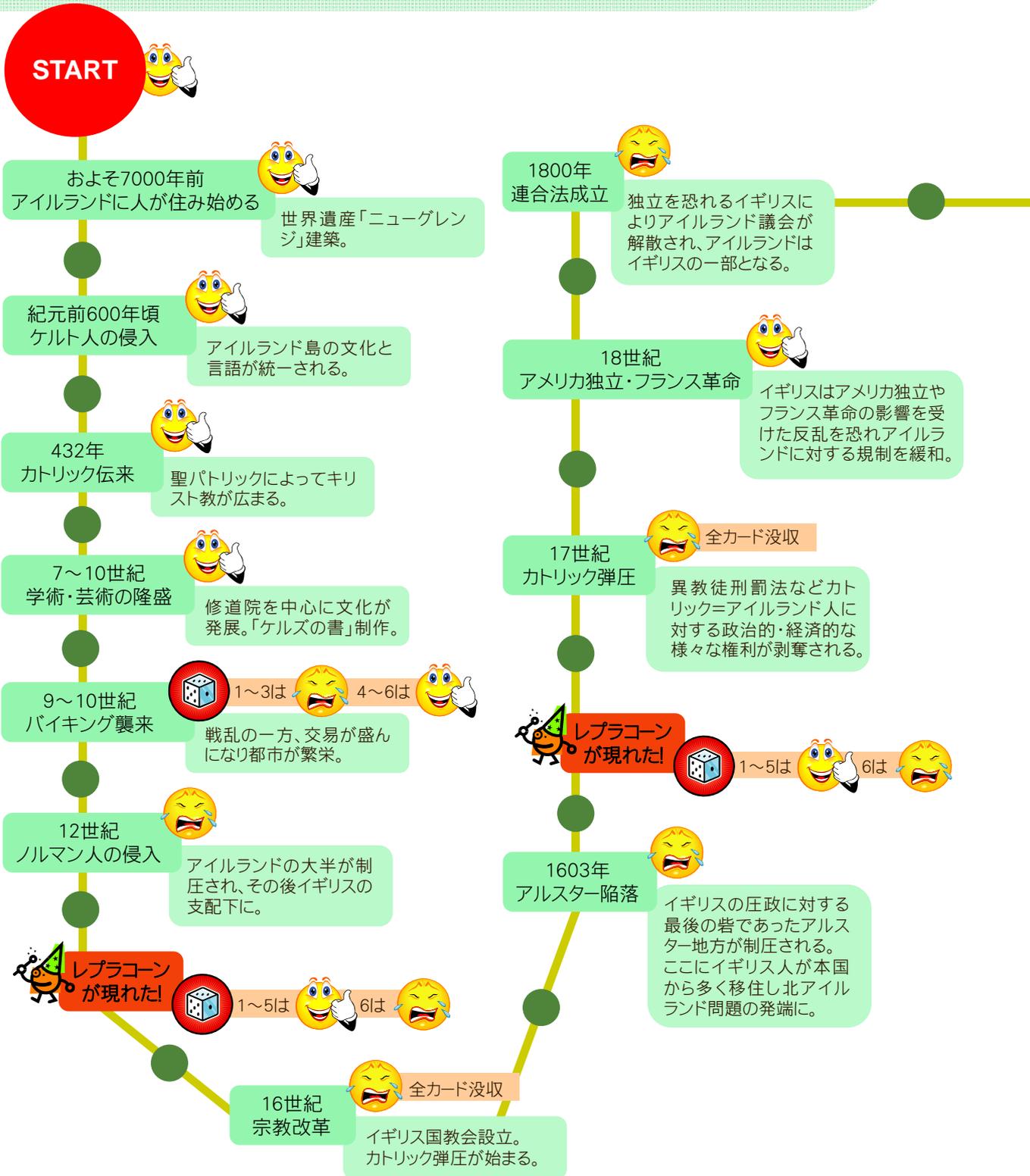
① アイルランドの現在までの歩みを、すごろくでたどってみよう。



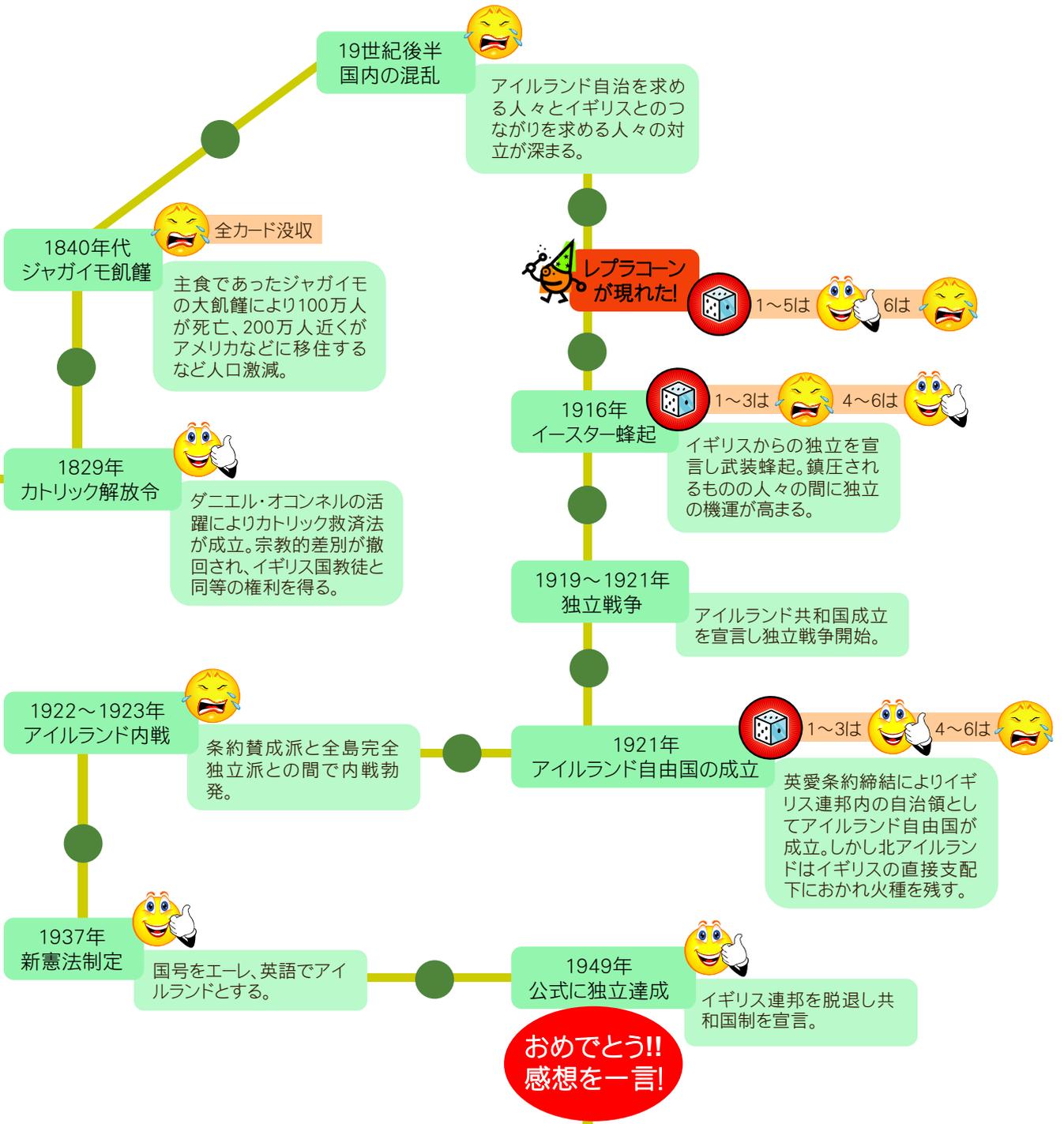
やり方は通常のすごろくと同じです。

止まったマスに マークがあればカードが手に入りますが、 マークがあればカードを失います。全部のカードを失った場合、スタートに戻らなくてはなりません。

のマークではサイコロを振ってください。



レプラコーンは、アイルランドで最も親しまれている妖精です。黄金のありかを知っているといわれていますが、いたずら好きな一面も。(→P.19)



1 このすごろくには1949年以降のマスがありません。このあとアイルランドはどうなっていったのでしょうか? 調べてすごろくを完成させましょう。



すごろくカード



フォトギャラリー



アイルランドを旅すると、このような古城や石積みによく出会います。



ケルトの聖地、タラの丘

大きな町をつなぐ長距離バス。
日本と同じ左通行です。(→P.16)



高さ200m、長さ8kmにもおよぶモハーの断崖。
アイルランドで最も有名な観光地の一つです。



色は緑、尾翼にシャムロック(見えないけど…)の
「ザ・アイルランド」エアリングス航空



北西部のドニゴールは上質なツイードの産地として有名



最高級とうたわれるアイリッシュリネン&レース

 第4章

そして未来へ

P. 28の「世界各国からの援助・支援」については、2012年作成教材に当該国の他、下記の国の写真とエピソードが掲載されています。



教材



掲載されている国

アイスランド・キューバ・スウェーデン・ブルンジ	アンゴラ・インド・オーストラリア・英国・エチオピア・エルサルバドル・中国・ポーランド
アイルランド・カタール・グアテマラ・トンガ	アメリカ・ウガンダ・カザフスタン・ベトナム・モロッコ
アルメニア・コンゴ民主共和国・シンガポール・ドイツ	アゼルバイジャン・エジプト・カナダ・カンボジア・スイス・タイ・バプアニューギニア
アルゼンチン・エクアドル・ツバル・バングラデシュ	イタリア・インドネシア・サウジアラビア・チュニジア・パナマ・ホンジュラス・マーシャル諸島
オーストリア・ソロモン諸島・ブータン・ブルネイ	ウズベキスタン・ガボン・ジブチ・スリランカ・デンマーク・ベリーズ・ベルギー
イエメン・ギリシャ・パラオ	キルギス・ノルウェー・パキスタン・フィリピン・ブルガリア・マリ・メキシコ
チェコ・ナイジェリア・マダガスカル	オランダ・セネガル・大韓民国・ドミニカ・ネパール・ボスニアヘルツェゴビナ・ミクロネシア・リトアニア・ルワンダ・ロシア
ギニア・クロアチア・コスタリカ・サモア・タンザニア	イラン・ガーナ・フィンランド・フランス・ベナン・マレーシア・南アフリカ
ウクライナ・ザンビア・モーリタニア	グルジア・スペイン・トルコ・ブルキナファソ・ベネズエラ・ポルトガル・モンゴル
ジンバブエ・ニカラグア・ペルー・ルーマニア	ケニア・スーダン・ニュージーランド・ヨルダン・ラオス

未来を語ろう！～忘れない。日本の強さと世界の優しさ～

 2011年3月11日14時46分18秒、東日本大震災が発生。津波により多くの方たちが犠牲になり、多くの街が壊滅しました。この災害で、私たちが学んだことは...?

- ① 3.11の大震災。信じられないような大きな被害を受け、いままで「あたり前」と思っていたことがあたり前でなくなった瞬間でした。みなさんは、どんなことを思いましたか？まずは自由に話し合ってみましょう。



 東日本大震災写真保存プロジェクト

- ② 発災直後から、多くの支援、援助が世界中から寄せられました。また、日本人のモラルの素晴らしさが評価されたという報道も流れました。P.28～29の資料を見て、どんなことを感じますか？
- ③ 『PRAYFORJAPAN 3.11 世界中が祈りはじめた日』(P.29)の中に、こんなメールが紹介されていました。



未来の歴史の教科書に「この大地震で壊滅的な被害を受けたが、日本は見事に立ち直っていった。」というふうに書かれていてほしいです。

さて、みなさんはどんなふうに書かれていてほしいと思いますか？

-  日本はどうなっていたいでしょう？
-  みなさんの住む地域はどうなっていたいでしょう？
-  日本は国際社会の中でどんな存在でありたいでしょう？
-  そして、世界の国々、この地球はどんなふうになっていて欲しいでしょう？

そうしたことを踏まえ、未来の教科書「2011年3月11日14時46分18秒東日本大震災が発生し、日本は壊滅的な被害を受けました。」の続きを考えてみましょう。

- ④ それぞれが考えた教科書を、みんなで読みあってみましょう。
- ⑤ さて、みなさんが考えた未来の地球、未来の日本、未来の地域を創るために、今、私たちにできることは何でしょう？グループで話し合ってみましょう。

世界各国からの援助・支援

派遣された救助チーム
専門家チーム

24カ国/地域
+ 5機関

派遣された人数
1,200名以上

(11月1日現在)

在外公館で受け付けた
義捐金総額

約84億
5,000万円

(9月15日現在)

人的支援・物資支援寄
付金等の支援の申し出
(支援意図の表明)

163カ国/地域
+ 43国際機関

(11月1日現在)

外国政府等からの援助
物資・寄付金の提供

126カ国/地域
国際機関
総額175億円以上

(11月1日現在)



 **アイルランド**
自宅前の道にテーブルを出して被災地
支援のためクッキーを売る子どもたち



 **アメリカ**
4月4日～8日、イリノイ州シャンバーグ
市のドゥーリー小学校が募金活動週間
「Hands on Japan」を行いました。手形
のバナーの作成や支援を訴えて歩くイ
ベント「Walk for Japan」を実施しました。



アメリカレスキューチームが、宿营地とし
ていた小学校の卒業式に参加しました。

 **モロッコ**
4月11日、アル・ホセイマ(2004年
大地震があり日本も援助)の小学
生8人が被災した子どもを励ます
とともに日本への感謝を込めた絵
をユニセフ事務所に託しました。

 **ウガンダ**
多数の閣僚、政府関係
者、市民等から様々な
お見舞いが寄せられてい
ます。

 **ベトナム**
3月31日、ハノイ・アカデミー・スクー
ル校長、生徒が生徒のつくった手形
集や生徒が祈りをささげている風景
を収めた写真を日本大使館に託しま
した。



 **グアテマラ**
サッカー場で草の根の募金運動が
行われ、サッカー観戦の市民が募金
に応じました。

 **カタール**
日本の子どもたちへの応援の
メッセージを込めた絵です。

 **カザフスタン**
3月18日、Miras学校生徒が
共同制作したお見舞いの寄
せ書きが大使館に届けられま
した。



 **トンガ**
5月5日、バオトゥ小学校の校長、生
徒5名などが日本大使館を訪問し、
義捐金を託しました。



ここに紹介した活動はほんの一部です。他にも多くの活動・支援がありますので、下記のウェブサイトを見てみましょう。

心が温くなるメール ~ 『PRAYFORJAPAN 3.11世界中が祈りはじめた日』より~

2011年3月11日14時58分、ツイッターに「prayforjapan(日本のために祈る)」という投稿が届きました。そしてそれ以降、何十万というメッセージが世界中から次々に寄せられました。震災時、一時避難所に避難していた大学生が、そのメッセージをまとめたウェブサイトを立ち上げました。そこには、海外からのメッセージの他に、日本国内で起きた心温まるエピソードも寄せられました。そうしたメッセージやエピソードは「日本の財産である」と、1冊の本にまとめられています。



東横線の車掌さん、アナウンスで「大変なことになってますが、ここが頑張りどころです。みんなで力を合わせて乗り切りましょう!」と。たぶん、マニュアル外だと思う。素敵だ(^_^)



物が散乱しているスーパーで、落ちていたものを律義に拾い、そして列に黙って並んでお金を払って買い物をする。運転再開した電車で混んでいるのに妊婦に席を譲るお年寄り。この光景を見て外国人は絶句したようだ。本当だろう、この話。すごいよ日本。



昨日の夜中、大学から徒歩で帰宅する道すがら、とっくに閉店したパン屋のおばちゃんが無料でパン配給していた。こんな喧騒の中でも自分にできること見つけて実践している人に感動。心温まった。東京も捨てたもんじゃないな。



バイト中に地震があって、ほぼ満席の状態からお客さんに外に避難してもらいました。食い逃げ半端ないだろうな、と思っていたが、ほとんどのお客さんが戻ってきて会計してくれました。ほんの少しの戻れなかったお客さんは、今日わざわざ店に足を運んでくださいました。日本っていい国。



昨日、韓国のツイッターで話題になった話。韓国駐在の日本人がタクシーに乗ってからお金を払おうとしたら、あっさり拒否されたい。「日本人でしょう? 日本に帰ったら、このタクシー代を寄付しなさい。」国籍とか政治とかは別にして、一般庶民の考え方はみんな同じ。



避難所で4人家族なのに「分け合って食べます」と3つしかおにぎりをもらわない人を見た。凍えるほど寒いのに、毛布を譲り合う人を見た。きちんと一列に並んで、順番を守って物資を受け取る姿に日本人の誇りを見た。



亡くなった母が言っていた言葉を思い出す。「人は奪い合えば足りないが分け合うと余る」。被災地で実践されていた。この国の東北の方々を、日本を、誇りに思います。



M9.0 世界最大級となったのか。じゃ、今後復興のためのエネルギーも愛も、世界最大級にしくちゃ。



誰かに頑張ってもらいたいと願うなら、100回「頑張れ」と言うよりも、自分が1回頑張った方が伝わる。私たちが、頑張ろう。



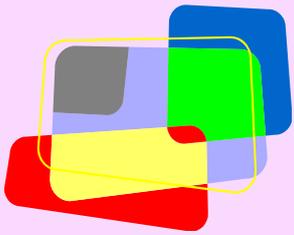
世界各国から勇敢なレスキューチームが東北の被災地へ赴き、危険を顧みずたくさんの人々を救ってくれました。彼らの力強く、そして温かなサポートに心からの感謝を贈りたいと思います。本当にどうもありがとう!!



日本は今まで世界中に援助をしてきた援助大国だ。今回は国連が全力で日本を援助する。

国連からのコメント

参 考 资 料



目で見るアイルランド



この旗は1848年の独立運動の象徴となり、国旗として用いられましたが、公式に使用されるのが許されたのは1917年です。緑色はカトリック、または国の古い要素を表し、オレンジはプロテスタント、または新しい要素、白は平和または古いものと新しいものの結合と友愛を表しています。

人口 (2009年)

 4,515,000人



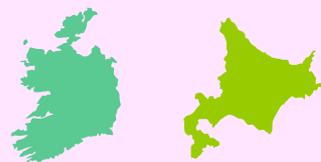
 127,156,000人



面積

 70,300km²
(北海道とほぼ同じ)

 377,947km²



気候帯



西岸海洋性気候

宗教

カトリック教

言語



アイルランド語(ゲール語)
及び英語

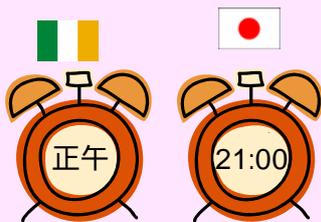
通貨



ユーロ



日本との時差 -9時間



平均気温



年間降水量



国旗:『世界の国旗』吹浦忠正監修(Gakken)、『世界の国旗と国章大図鑑』苅安望編著(平凡社) 面積・首都・通貨・言語・宗教:外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」 人口:世界子供白書2011(ユニセフ) 日本の面積:総務省統計局「日本の統計2011」 気候帯・平均気温・年間降水量:外務省ウェブサイト「探検しよう!みんなの地球」 名古屋の平均気温・年間降水量:愛知県ウェブサイト「ポケット情報あいち-土地・気象、人口、農林漁業、事業所(平成22年)」 日本との時差:『世界の国一覧表 2007年版』(財団法人世界の動き社)

主要産業

製造業(電子・電気 化学) 酪農畜産業



日本との 貿易主要品目



有機化合物 光学機器 医薬品等



有機化合物 医薬品 乗用車等

一人あたりのGNI (2009年)

 44,310米ドル



 37,870米ドル



5歳未満児の死亡者数 (出生1000人あたり) (2009年)

 4人 

 3人 

都市人口の比率 (2009年)



 62%

 67%

人口増加率 (2000～2009年)



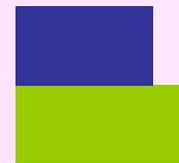
 2.1%

 0.0%

出生時の平均余命 (2009年)

 80年

 83年



在留邦人数

1,609人 (2010年)



在日アイルランド人数

1,061人
(2010年 法務省 外国人登録者数)



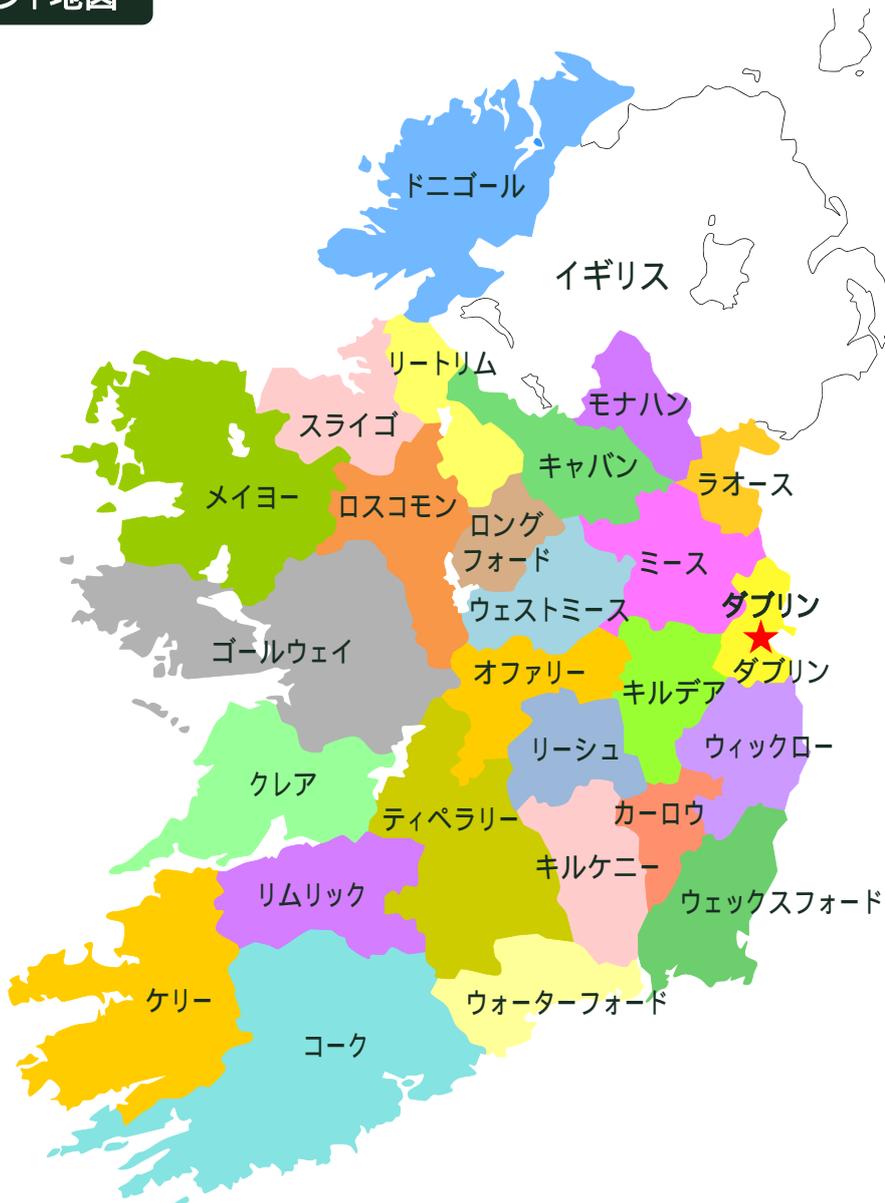
初等教育 純就学/出席率 (2005～2009年)

 97%



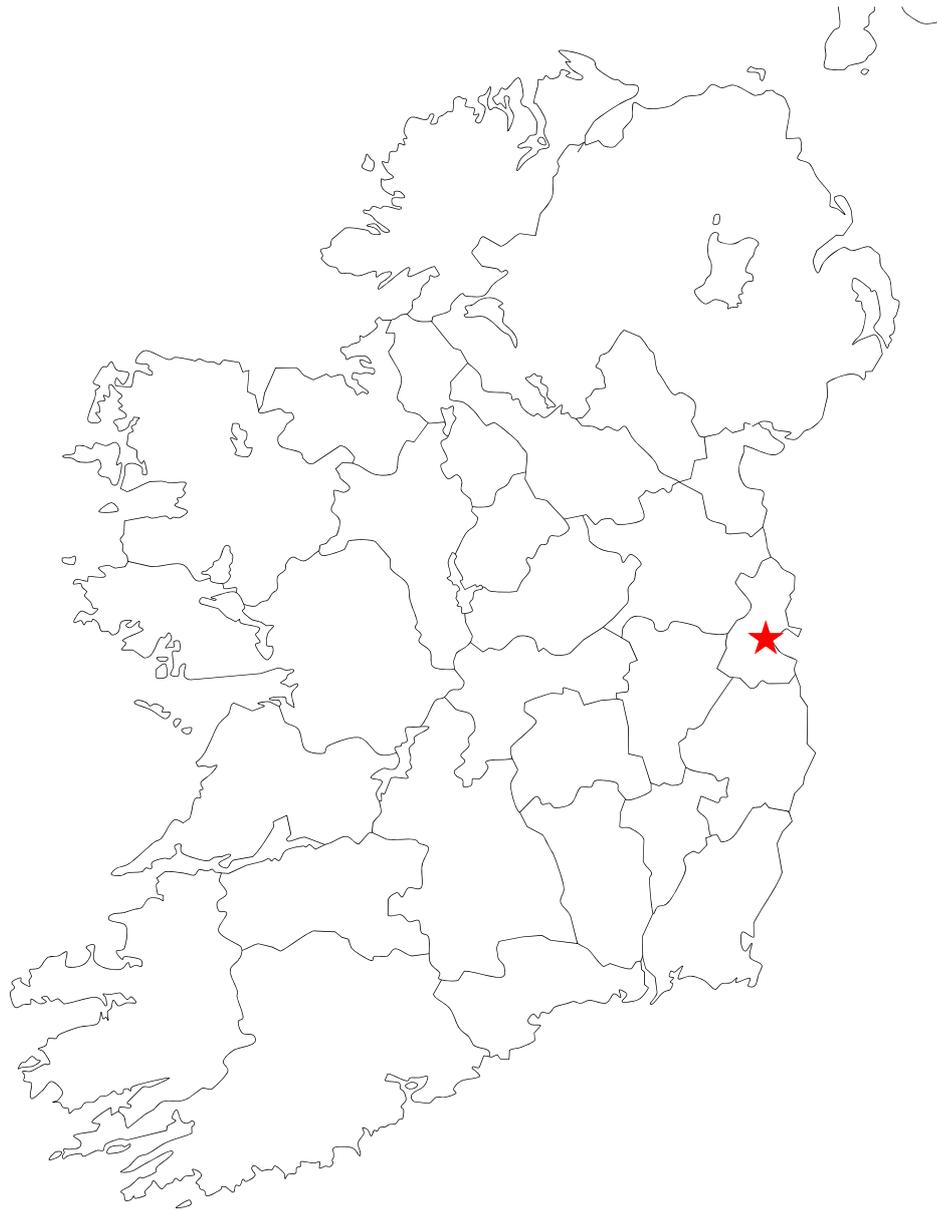
主要産業・日本との貿易主要品目・在留邦人数:外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」 在日アイルランド人数:法務省ウェブサイト「登録外国人統計統計表」 一人あたりのGNI・出生時の平均余命・都市人口の比率・5歳未満児の死亡者数・初等教育純就学/出席率・人口増加率:世界子供白書2011(ユニセフ)

アイルランド地図



ヨーロッパ





ヨーロッパ





参考文献・データ等の出典

外務省ウェブサイト

「各国地域情勢」 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html>

「探検しよう! みんなの地球」

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sanka/kyouiku/kaihatsu/chikyu/index.html>

「がんばれ日本! 世界は日本と共にある」

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/saigai/episode.html>

「世界各地での支援の様子(フォトギャラリー)」

http://www.flickr.com/photos/mofaj_tohoku/collections/

総務省統計局ウェブサイト「日本の統計」 <http://www.stat.go.jp/data/nihon/index.htm>

公益財団法人日本ユニセフ協会ウェブサイト『世界子ども白書2011』

<http://www.unicef.or.jp/library/index.html>

『PRAYFORJAPAN 3.11世界中が祈りはじめた日』 prayforjapan.jp編 講談社

アイルランド政府観光庁 <http://www.discoverireland.jp/index.html>

駐日アイルランド大使館 <http://www.irishembassy.jp/home/index.aspx?id=33616>

アイルランド学園 <http://www.embassyofireland.jp/school/index.html>

エールスクエア <http://www.globe.co.jp/homepage.html>

ゆらりアイルランド旅行 <http://www.sunsetadventure.com/>

Irish Network Japan <http://www.inj.or.jp/index.html>

アイルランド政府観光庁各種資料

『地球の歩き方 アイルランド』 「地球の歩き方」編集室著 ダイヤモンド・ビック社

『アイルランド 緑につつまれて、ハッピー&ラブリーを探す旅』 「地球の歩き方」編集室著

ダイヤモンド・ビック社

『アイルランド史入門』 シェイマス・マコール著 小野 修編 明石書店

ご協力いただいた方たち【敬称略】

池端 瞳



2011年度教材作成チーム

碧南市 犬山市 あま市 長久手市 扶桑町
特定非営利活動法人 NIED・国際理解教育センター
公益財団法人 愛知県国際交流協会

世界の国を知る  世界の国から学ぶ
わたしたちの地球と未来

 アイルランド 

2012年3月

**発行
編集**

公益財団法人 愛知県国際交流協会
〒460-0001

名古屋市中区三の丸二丁目6番1号
あいち国際プラザ

TEL: 052-961-7904 FAX: 052-961-8045

E-mail: koryu@aia.pref.aichi.jp

URL: <http://www2.aia.pref.aichi.jp>

印刷

トッパン・フォームズ株式会社



